



# 第87号

## ●主な記事

令和7年度行事のご案内  
支部・同期会・OB会日より  
母校近況・寄贈図書

令和7年6月17日発行

一般社団法人 長野高等学校金鷄会

事務局 ☎(026)235-3822

発行人 山口 利幸

編集人 原 良通

URL

<https://www.kinshi.org>

E-Mail

[dousoukai@kinshi.org](mailto:dousoukai@kinshi.org)

## ご挨拶



戦後80年、米国のトランプ政権は国際協調路線を転換し「関税政策」による自国第一主義を進めています。3年前の

ロシアのウクライナ侵攻と併せ、大国により国際秩序は大きく揺らいでいます。また、生成AIの今後のあり様は核兵器とは異なる次元で人間の存亡に繋がりがかねないものとなってきました。まさに転換期を示す混沌とした状況です。

このような中、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。平素から同窓会にご理解・ご支援いただき誠にありがとうございます。昨年、の総会以降、同窓会事業は概ね計画どおり遂行できました。新たな課題であるデジタル化については具体的にシステム構築を進めるために「支援チーム」を作ることになりました。この分野に精通する吉川満則氏(高36回)、鈴木章太郎氏(高36回)、内田光紀氏(高43回)三氏のご協力をいただきスタートすることができました。本年度は会員の登録千人を目指すとともに、システムの運用管理、評価等を試行しながら確実なシステムにしていく年としたいと思います。まだ登録されていない会員の積極的な登録をお願いいたします。

さて、在校生支援について主なものを紹介いたします。太陽光奨学金については、本来、奨学生は2名のところ「甲乙つけがたい」とのことから令和6年度は3名が選

会長 山口利幸 (高17回)

出され、3月1日(土)卒業式当日、認定証書を渡しました。国際理解涵養事業はこれまで米国研修として実施してきましたが、訪問先をアジアや欧州にも拡大し、専門業者の企画に個人として参画することになりましたので、今後、支援の形を検討してまいります。また、国の有形文化財である金鷄会館(旧南校舎)の2階3教室を個人ブースの学習室として放課後開放しています。防災・防犯、耐震など建物の維持管理上必要な補修を長期的視点に立って行っていききたいと思います。その他、学校、PTAと連携した学習支援事業である「日新館事業」も継続して実施しています。

本年度の総会は6月28日(土)です。今年度の事業計画及び予算案、130周年事業への段取り等を報告いたします。講演会、懇親会もあります。担当回りは41回と53回の方々です。よろしくお願いいたします。多くの参加者を得て盛大に「山また山」を歌いましょう。





## ご挨拶

学校長 廣田昌彦

平素より長野高校同窓会金鷄会の皆様におかれましては、本校の教育活動に対しあらゆる面でご支援いただいていることに、ここに深く感謝申し上げます。

昨年11月にコロナ禍で中止していた台湾研修旅行を再開いたしました。全日制2学年は1年がかりでこの旅行について準備してきましたが、直前に台湾に強い台風が来襲し大いに心配しました。2便の飛行機で予定通りに出発し、とても充実した4泊5日の旅行となりました。中止していたために校内に経験の蓄積が途切れた状態でしたが、担任の先生方がチャレンジ精神のもとに力をあわせ、予想を上回る結果を手に入れました。はじめての海外渡航という生徒諸君も多く、現地高校生との交流も盛り上がり、地球の大きさを肌で感じることであった機会になったと思います。この経験を礎に今後さらに良い旅行としたいと思います。

3月、1年生の生徒から希望者を募って米国研修を行いました。この研修の成果は5月の公開授業日に小体育館で発表しました。例年、フロアに入りきれないほどの皆さんが聞きに来てくださいます。今年は米国研修に加え、シンガポール研修とイギリス研修を追加して生徒を募集しています。これらの研修は他県の進学校、例えば前橋高校や早稲田大学本庄高等学院等に

も呼びかけ、他校の生徒たちと行います。3月には米国研修、シンガポール研修が実施されましたが、参加者は大いに刺激を受けたようです。本校生徒には県内だけでなく、常に外世界への視線を忘れないでほしいと願っています。

長野県は第4次教育振興基本計画の策定する際に、探究県「長野」を標榜しました。これからの時代を、探究を核に据えた学びでつくっていくという決意表明です。今年3月の卒業生諸君は、低学年のうちからその生徒の個性や、興味関心をとことん追求し、その資質・能力を十分育むことで、本校らしい進路を実現した生徒たちが何人もいました。

長野高校の教育活動は、新しい時代に求められることを取り込みながら、益々盛んに拡大しているところですが、物価高騰の折、資金の不足する場面も生じています。ふるさと納税の「信州『学び』応援寄付金」(学校HPにご案内があります)をご利用いただきますと、本校を指定した寄付が可能です。是非ご活用ください。もちろん同窓会を通じての寄付でも結構です。よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、生徒の諸君の躍進を支えるために、同窓生の皆様には平素より物心両面にわたるご支援をいただき、衷心より感謝申し上げます。

## 母 校 近 況

### ● 令和6年度 金鷄賞

令和6年度に顕著な活躍をした班・部に同窓会より総額40万円の副賞を添えて金鷄賞を贈りました。

#### 1. 金鷄優秀賞 3万円

陸上班・ラグビー班・ソフトテニス班  
剣道班・合唱班・弓道班

#### 2. 金鷄優良賞 2万円

野球班・硬式庭球班・水泳班・かるた班  
囲碁・将棋班・ECC班・新聞部・放送部  
文芸班・書道班



#### 3. 金鷄奨励賞 1万円

ダンス班・応用物理班



#### 4. 金鷄特別賞

各班で個人として活躍した生徒及び班活動

以外の特別活動で活躍した18名に金鷄特別賞を贈りました。

### ● 米国研修から海外研修へ

長野高校では2023年度まで、1年生希望者による米国研修を3月に実施してきました（コロナ禍を除く）。近年、物価高・円安により渡航費が高騰し、2024年度から研修の見直しを行いました。

- ・価格を抑えて、有意義な国際交流のできるコースの新設。
- ・多くの高校と共同し、本校参加者が少人数であっても実現できる多様なコースの新設、ならびに他校生との交流機会の設定。
- ・実績のある本校独自の米国研修の継続。
- ・高校生海外研修を専門的に扱う旅行社による引率指導。

上記の趣旨を踏まえ、下記の研修を実施しました。また、7月から8月に10日間のイギリス語学研修を予定しています。

#### 1. シンガポール研修

(1) 2025年3月9日(日)～14日(金)

(2) 参加校 本校4名

群馬県立太田高校・群馬県立高崎女子高校・群馬県立前橋高校

(3) 内 容

他校生と協働してグループワーク、プレゼンテーション

シンガポール大学見学 現地邦人経営者による講演会

大学生とグループを組み、シンガポール市内でインタビュー等

#### 2. 米国研修

(1) 2025年3月16日(日)～22日(土)

(2) 参加生徒 35名

(3) 内 容

ハーバード大学見学・模擬講義と学生

との討論

MITミュージアム見学等施設見学

マサチューセッツ工科大学を学生と見学

長野高校OB・OGとの夕食会

国連本部見学 国連開発計画（UNDP）

所属上級顧問の講演

Millburn High Schoolで発表、生徒と交流

#### 参加生徒感想

##### 〈シンガポール〉

コミュニケーションは、上手く伝わらなくても、頑張って伝えようとしている姿はとてもかっこよく他者の目に映ります。これは私がグループメンバーを見て実際に感じたことの一つです。それは、言語の壁をすんなりと越えることができるコミュニケーションツールとなり得るのだと思います。母語を使わない、使えない環境は正直怖かったけど、国や言語が異なっているからといって何も相手に伝わらないなんてことは、決してないのだと知りました。これらは私一人だけで成し得た経験ではありません。周りの仲間たちと協力して、一丸となったからこそ得られた経験です。

##### 〈アメリカ〉

アメリカに行って得たものの一つに「自分から意見を示すこと」があります。当初、挙手することができませんでした。間違えることへの不安や、誰かがやってくれるだろうという慢心があったのだと思います。しかし、添乗員さんの言葉で気付かされ、学生との交流や国連の見学などでは自分から積極的に意見や質問を発言することができるようになりました。この能力は、日本でも世界でも必須なものだと思うので、生活や学習の中で常に意識していきたいです。



シンガポール  
国立大学



ハーバード大学とMIT、ミルバーン高校の訪問は、私が特に頑張りたいと思ったアクティビティでした。私はハーバード係として、学生へのプレゼンテーションと高校生とのディスカッションの進行を行いました。日本の大学に比べて、より学生や教師の間の交流を大事にするアメリカの大学の教育スタイルを理解することができました。私も含めた長野高校の参加者の積極的な発言が見られたことは、とても嬉しいことでした。私は日本の最高レベルの大学と言われる東京大学を見学しましたが、アメリカの二つの大学は設備の質と量の点において、日本の大学を圧倒しているように感じました。

アメリカ ニューヨーク タイムズスクエア

## ● 女子バスケットボール班

班長 3年6組 山口真緒

女子バスケットボール班は、現在1年生5名、2年生4名、3年生4名の計13名で活動しています。中には高校からバスケットボールを始めたメンバーもありますが、基礎的な技術や体力づくりに取り組みながら、戦術やチームプレーの練習にも励んでいます。みんなで声をかけ合い、明るい雰囲気の中で楽しく練習しています。

1年生が入班する前は、人数が少なく、思うようにゲーム形式の練習ができない状況でしたが、少人数でも工夫





しながら練習メニューを考え、取り組んできました。1年生が入ってくれたことでゲーム形式の練習が可能になり、チームの雰囲気もより活気づいたと感じています。他の班活に比べても人数が少ないからこそ、先輩後輩関係なく何でも言い合える関係ができていて、班の雰囲気もとても良いです。これは女子バスケットボール班の魅力だと思っています。

新体制になって初めて出場した試合では、これまでみんなで考えてきた戦略を試すことがで

き、強いチームにも積極的に挑むことができました。この経験を通して、練習の成果や今後の課題にも気づくことができ、とても良い経験になりました。

これからは、もっと技術やチーム力を高めて、大会での初戦突破を目指していきたいです。今のチームの明るさを大切にしながら、自分たちらしいプレーができるよう、引き続き練習を頑張っていきたいと思います。これからも応援よろしくお願いします。

## ● 書道班

顧問 丹野茉莉莉

この春、3年生8名、2年生11名に加え1年生が1名入班し、計20名で活動しています。

北信高等学校書道展や県高等学校書道展をはじめ、長野県展や佐久臨書展、驪山館全国書初展、全国書道コンクールなど県内・全国規模の公募展にも意欲的に挑戦しています。他にも20分間で与えられた紙2枚のみで作品を完成させる日本武道館席書大会への参加、美術班と合同で上松地区の

お祭り用の行灯制作をしています。作品は古典の臨書を中心とした制作が多いですが、最近は和歌や少字数の創作も増えてきました。

書道の魅力をより広く伝えるため、書道パフォーマンスを始めて3年が経ちました。長野高校カラーのエンジ色の上衣と黒袴を身に纏い、主に金鷄祭や新入生歓迎会、ながの高校生書道パフォーマンス（今年は実施無し）でお披露目しています。1m程の大筆（愛称：ジョッティ）は、多くの舞台を乗り越え毛量が危ないです。書道



パフォーマンスはおおよそ4m×6m紙の床書きがオーソドックスですが、ふと何かを思いつく人がいるのです。「書いている様子をお客さんに見えやすくしたい」とスタイロホームで簡易壁を作り…「仮名を大きく、日本らしく表現したい」プラスチックダンボールで屏風を作り…「大きい壁っていいよね」と文化祭の廃材を回収し、木材を買って工具を借りパネルを作りました。設計には数学の知識がとても役に立ちました。汗水たらしてそんなことをしていると、ふ

と自分たちは何班だったかわからなくなります。

書道班としては近年稀の大所帯となり、多方面で活動を続けてこられるのも、同窓会や地域・保護者の皆様、先生方からの応援があつてのことです。「美術館で作品見たよ」「パフォーマンス頑張ってるね」と声をかけていただいたり、同窓生の方からご連絡いただき使わなくなった紙・墨をはじめとした書道用品を譲っていただいたりもしました。すべてが筆を持つ活力となり日々感謝しながら活動しています。今後も書を



探究し、多くの人に書の魅力をお届けしたいです。

## ● 水泳班

班長 3年4組 廣田大陸

長野高校水泳班は、現在1年生7名、2年生1名、3年生7名の計15名で活動しています。

班員は水泳未経験者から経験者までと幅広いです。大会は、北信大会、県大会、北信越大会、全国大会があり、目指すものはそれぞれです。

練習は主に夏季のみで、それ以外の時期は個人でクラブの練習に専念したりと様々です。高校から水泳を始めるのは抵抗があるのか、部員は決して多いとはいえません。しかし、少人数であることで互いにコミュニケーションが取りやすく、和やかな雰囲気の中気軽に練習をすることができています。

水泳は個人戦と一般的には言われていますが、日々の練習は団体戦です。練習していきなかに自然とできる仲間、その仲間と互いに高めあい、喜びや苦しみなどを共有する中でメンタルの面でも強くなることができます。私が仲間のありがたさを実感したのは、大会中にスタート台に立った際、名前を叫んでくれたときです。意外と単純なことかも知れませんが、その声援を聞くと自分を応援してくれる仲間がいるんだと勇気づけられ、応援してくれる仲間のためにも頑張ろうと思います。このように感じたことがあるのは私だけではないと思います。

さて、話題は変わりますが、私たち水泳班は毎年金鷄祭に出ることができません。県大会と日程が被っているのです。そのため先輩方が金鷄祭の日程を変更してもらおうと試みてきたのですが、叶いませんでした。長野高校の学校生活で最も盛り上がるイベントと言っても過言ではない行事に参加できないこ





とはとても心苦しいものがあります。この公の場で言わせてください。来年から県大会と金鷄祭の日程を変更してください。この記事をお読

みいただいたOBとOGの方々、ご協力よろしく申し上げます。

## 金鷄太陽光120奨学金

令和7年3月1日、卒業式に合わせて第5回目の奨学生3名に認定証書を渡しました。会長から激励の言葉が贈られ、卒業生からは感謝の言葉とともに今後の抱負が語られました。

なお、令和5年度進学者から現役で進学しなくとも可となり、その制度を使って6年度の奨学生1名が7年度に進学しました。また、今回の7年度3名中2名も次年度へ持ち越し、より高みを目指す選択をしました。

今年も匿名の同窓生からのご寄付を頂戴しました。大切に使用させていただきます。

以下、昨年の奨学生から送られた近況です。

家庭の経済状況が厳しい我が家にとって、太陽光奨学金は本当に助けになりました。特に初年度は、色々なことに費用がかかり、また私が薬学部ということもあって健康診断や各種予防接種なども必要だったため、同窓会からいただいた奨学金にも支えられ大学1年生を大きな問題もなく過ごすことができました。本当にありがとうございました。

2年生となり、これからより専門的な分野について学ぶことになっていく私ですが、現在夢を追うことの厳しさに直面しています。もともと理系の科目がかなり苦手で、そのまま今の学部にも入学したのでこの一年間は本当についていくだけでも精一杯でした。自分がその職に就きたいと本当に思っている、その理想と自身の能力のギャッ

プに時には自分には向いていないんじゃないかと思うこともありました。ただ、高校在学時も私は結果がついてくるまでにかかなり時間がかかるタイプだったので、厳しさは増す一方ですが、この厳しさの末にきっと目標に手が届くと信じて、これからも勉学に勤しんでいこうと思います。

勉強以外の話ですと、大学生になって自由に使える時間も増えたので、個人的な時間を楽しむことができています。普段学校がある日々が辛い分、長期休暇は思い切り楽しもうと心掛けています。

まだまだ卒業までの道のりは長いですが、長野高校で鍛えられた集中力など活かしてこれからも頑張ります。

改めて、この度は私に奨学金を給付して下さり本当にありがとうございました。

## 令和6年度 長野高等学校教育設備改善のための委員会 会計報告

収入総額	2,314,612円
支出総額	405,758円
差引残額	1,908,854円

収入 (単位：円)	
科 目	決算額
雑収入	945
前年度繰越金	2,313,667
収入総額	2,314,612

支出 (単位：円)	
科 目	決算額
ICT環境整備	113,208
Wi-Fi利用料	36,300
フィールドワーク交通費補助	48,700
生徒派遣費	12,000
印刷費	194,120
雑費	1,430
支出総額	405,758
収支差額	1,908,854

## 支部・同期会・OB会だより



高29回 ギター・マンドリン班

### 高29回 ギター・マンドリン班OB・OG会

令和6年6月29日(土)に長野市吉田のL Doppioにおいて、5年ぶりに高29回生によるギター・マンドリン班のOB・OG会が開催されました。

当日は、地元長野市在住者2名をはじめ、市外、県外から6名、合計8名のOB・OGが参加しました。

本会は、高29回生のギター・マンドリン班OB・OGによるものですが、長野高校のHPによると、現在の班活動・部活動の欄にはギター・マンドリン班の名前はありません。日常生活においてマンドリンの音色を聞く機会は少なくなっていると思いますが、当時の班員としては残念な状況でもあります。

前回のOB・OG会は私たちが還暦を迎えた節目の年に開催していますが、それから5年が経ったこともあり、仕事に一区切りをつけた方がいるほか、コロナ禍の中で親の介護に直面した方や子供の育児のサポートを担っている方がいるなど、各人を取り巻く状況も年相応に変化していました。

大学卒業以来40数年ぶりの再会という方もいましたが、3年間の濃密な班活動を共にした仲間であり、気持ちはすぐに高校時代に戻り、当時の数々の出来事を

語り合い、所定の時間はあっという間に過ぎていきました。

いつも地元でこの会の開催に尽力していただいている中村敦子さんに感謝するとともに、次回会合の開催を誓いつつ、二次会へと場所を移動していきました。

(林 徹)

### 須高金鷄会 20年ぶり開催

昨年、須高金鷄会(須坂市・小布施町・高山村)を20年ぶりに開催することができました。佐藤久夫会長(長中45回)のご逝去以来、開催されておられませんでした当会ですが、今回須坂市長三木正夫氏(高20回)が会長



須高金鷄会



を引き受けていただけることになり準備を進めてまいりました。

本会に問い合わせたところ、須高地区には約550名の登録があり、全員に開催の旨(出席・欠席・連絡不要)を発信すると、約200名から返信がまいりました。その中から出席返信者に改めて通知し、令和6年8月24日(土)、須坂温泉古城荘において、34名出席のもと盛大に開催することができました。

高2回生から高71回生までの同窓生が一堂に会し、長野高校の歴史の重みと時流を実感いたしました。改めて三木氏の会長就任の承認をいただき、諸氏全員のスピーチでは先輩諸氏の回想録から若い人の思い出等、興味深くお聞きいたしました。あっという間に時間が経ち、名残惜しいすばらしい会となりました。

通学区制度、10%条項等を乗り越えて毎年約20名の卒業生がこの地区から誕生していますので、この会を再び意義のある会にしていきたいと考えています。

(高20回 菊池健造)

## 高13回 東京長高36会

～全員81歳クリア、これにてひと区切り～

昭和36年卒の高13回「東京長高36会」の同期会が令和6年11月8日(金)、東京のホテル「グランドヒル市ヶ谷」で開かれ、8組・9組合同幹事団の差配のもと、長野や関西から駆けつけた同期を含め57人が出席し、大いに賑わった。

日本人男性の平均寿命は81歳。それをすでにクリア

した同期の面々だが、「遠出がしんどくなった」「階段のない会場にしてほしい」「明るいうちに帰りたい」などの声も出るようになった。

そのため、たまたま幹事が9組まで回ってきたのを区切りに「こうした形での同期会はひとまず終わりにしよう」という声上がり、この日の会が「仮・最終回」となった。

この1年間の物故者4人の霊に黙祷を捧げたあと、長野から参加した元長野市長・元長高同窓会長の加藤久雄君の音頭で乾杯。続いて、第1回同期会の開催を呼びかけた高池勝彦君が当時の経緯を披露した。

第1回は卒業から20年の1981年。コロナ禍の2021年を除いて毎年で開催で、「よく続いたものだ」との声が相次ぎ、わが同期グループの結束の固さに改めて感嘆の声が出た。

長野からは11人、関西からは5人が遠路参加。長野組代表の花岡荘太郎君、関西組代表の高坂昌利君の現地報告があり、校歌斉唱まで賑やかな会となった。最後には「今日の日はさようなら」の斉唱があったが、多くの同期から「来年もやれ!」「終わるのに反対!」など



高13回 東京長高36会



と声が飛んだ。

帰りには、全員の現況報告や同期会の経緯、ゴルフ会の成績表、海外旅行グループの報告などが網羅されたパンフレット「東京長高三六会・See You Again!」が渡された。  
(松本仁一)

## 東京長高金鶏会

令和6年12月14日(土)、東京長高金鶏会総会・講演会が経団連会館にて盛大に開催されました。年の瀬という多忙な時期にもかかわらず、高10回生から高73回生までの幅広い世代の83名が参加し、母校への愛情と絆を深める貴重な機会となりました。

ご来賓として、山口利幸会長(高17回)・原良通事務局長(高29回)に加え、廣田昌彦校長先生(高34回)にもお越しいただき、長野高校の近況や現役生の活躍についてお話しいただきました。今を懸命に取り組む現役生の姿に刺激を受け、大きな励みとなりました。

また、才口千晴氏(高9回、元最高裁判事、東京長高金鶏会幹事長)を偲ぶ時間が設けられ、中村健氏(高22回、東京長高金鶏会名誉顧問)の進行により厳かに行われました。才口氏の母校への多大な貢献に感謝を捧げるとともに、その功績に改めて思いを馳せるひとときとなりました。

今回の講演会のプログラムは、南直哉氏(高29回、青森県恐山菩提寺院代(住職代理)、福井県霊泉寺住職)による「魂のゆくえ」というテーマでの講演、花岡信太郎氏(高39回、NHK横浜放送局コンテンツセンターセ

ンター長、前NHK報道局選挙プロジェクトチーフ・リード)による「選挙報道のオモテとウラ〜当確の打ち方〜」というテーマでの話題提供でした。講演では、永平寺での修行中のエピソードや、死ぬとは何かなどの深遠な話題について、ユーモアを交えながらお話しいただきました。参加者全員が南氏の話術に引き込まれ、瞬く間に講演は終了し、質疑応答も活発に行われました。その後の話題提供では、選挙報道の現状や当確を打ち出すまでの綿密な計画やプロセスについての貴重なお話をご提供いただき、大いに学びのある時間となりました。

総会では、活動報告や会計報告が行われ、新たに副会長として加藤千絵氏(高43回)、副幹事長として冨坂和男氏(高38回)、小原知子氏(高45回)、本多麗奈氏(高68回)の4名が選出されました。

恒例の校歌斉唱で始まった懇親会では、多方面で活躍する卒業生が世代を超えた交流を楽しみ、会場は終始温かな雰囲気になりました。充実したひとときを過ごし、最後は県歌「信濃の国」の斉唱にて会を締めくくりました。  
(高66回 若林慎子)

## 高63回 同窓会

令和7年1月2日(木)に高63回同窓会を開催。同窓生57名、恩師6名の総勢63名が参加し、当時の懐かしい思い出や近況などを語り合うとても賑やかな会となりました。

新型コロナの影響もあり、大規模な会は久しぶりと





高63回

りましたが、今回多くの方と再会できたとても素敵な会となったため、今後も定期的に開催したいと考えております。  
(北澤孝祐)

## ESS班 同窓会

令和7年3月下旬、都内にて久しぶりにESSの同窓会が開催されました。昭和43年度卒から55年度卒の14名が参加しました。

ESS班は既に無くなったと聞いています。「文化祭でシェイクスピア劇を公演することが最大の活動」で

した。劇に没頭する方が多かったと記憶しています。

私が2年生で演じたリア王は、素直で心の美しい三女よりも意地悪く狡猾な長女と次女を信じた結果、追放されます。リア王の「わしは目が見えていたときには躓いた」など、シェイクスピア劇の人生に関する名言の数々から、不条理、美德、悪徳などを学びました。人間関係及び手塚治虫やクイーンの世界とともに私の人生の「生きる力」、支えとなってきました。

こうした時間を共有した仲間だからこそ、数十年ぶりの再会にも拘らず、すぐ打ち解け接点を再確認し、人生と世界そして私たちは何を残したいのか、につい



ESS班同窓会



て語り合えた気がします。

次回の場所(要領)は未定ですが、変動期で確定申告も苦勞するかもしれませんので、来年の3月下旬で進めたいと思います。写真などを持ち寄っていただき、シェイクスピア劇と人生について存分に語っていただける機会となれば幸いです。

元班員の皆様におかれましては、とりあえず私までご連絡先を教えていただきたくお願い申し上げます。

連絡先 sekaiha41.utsukushii92@gmail.com

(高30回 小林博史)

## 松本金鷄会 ファイブホルンFINAL

「第14回松本金鷄会」が令和7年2月13日(木)、松本市のファイブホルン松本PARCO店にて開催されました。松本PARCOが2月末の閉館前で大いに賑わっている中、同店を従来通り貸切させていただき開催できました。同店オーナー(株式会社五千尺会長)の藤澤繁雄さん(高11回)、おいしいお酒とお料理、誠にありがとうございました。

本会には24名の金鷄健児が集まりました。安曇野赤十字病院名誉院長の中野武本会会長(高25回)から再会を祝すご挨拶をいただき、上述の藤澤さんの乾杯のご

発声のもと、互いに中信地域での活躍を励まし合い、祈念いたしました。

今回は、松本市副市長の宮之本伸さん(高35回)が松本市役所の金鷄健児にお声がけいただき、同市役所からは5名ご参加いただきました。今後も何とぞよろしくお願いいたします。

松本金鷄会過去13回の歴史では、常に元常任幹事の山岸利行さん(高31回)によるエールと校歌斉唱がお決まりでありました。しかし、今回初めて欠席となってしまう、どうしたものかと思っていたのですが、何と元応援団の山本孝幸さん(高50回・八十二銀行勤務・本会では「牟礼の奇跡」との自己紹介がありました)が初めて本会に参加いただいております、いつも通りの力強い大団円を迎えることが叶いました。本会の結びには、株式会社市民タイムス会長の新保力さん(高11回)から、若き金鷄健児に激励のお言葉をいただき散会となりました。

次の開催時期・場所は特段決まっております。しかし何とか時間を見つけて貴重な集いの時を創ろうと思います。

松本で「山また山」を歌いたい皆さん、ぜひおいでいただきますようよろしくお願いいたします。

(高31回 金子智雄)







高9回 東京北ラス会

## 高9回 東京北ラス会

### 北高昭和 32 年卒・我ら北ラス会

長野北高9回卒業生、例年の東京北ラス会を5月15日（木）に東京大手町のKKRホテル東京で開催いたしました。

我々も86歳となり、本人、家族の健康状態などの問題も増えている中ですが、長野を始め各地から、昨年とほぼ同じ33名が集うことができました。今回もまた薫り高い長野の銘酒の差し入れも頂いて、先生方や北高祭等、次々と懐かしい話題で盛り上がり、年齢を忘れたひと時でした。年齢的にも、こうした機会はそろそろ限界かもしれないと案じていた幹事達でしたが、来年も続けようとの声に盛り上がり、東京北ラス会は不滅！！と、変わらずの再会を祈念して「山また山」の大合唱で閉会となりました。

2026年、87歳の北ラス会には元気な北高健児が集い、無事に開かれますように！！

（幹事長 田島知郎）

## 東京北ラスと長野北ラス会

北高を1957年3月に卒業して、確か「東京オリンピックの時（1964年）に集まろうや」となって八木君、オロ君、加畑君、他が世話人で同期会が始まったのではなかろうか？？新宿の「豪華」？での会の時に「会の名前どうする？北高最後の卒業だから”北ラス会”に」となったのではなかろうか？？ともあれ我らの北ラス会だ！！

以来、毎年東京と長野で北ラス会が開かれ、親交を深めている。10・20・30・40周年と節目に記念誌も出した。40周年の時には恩師が6人、同期が95人出席している。時を経て今は元気に40人位が出席だ。両北ラス会がどこまで続いていくのか・・・楽しみだ。

◎令和4年の東京北ラス会  
の集合写真  
（KKR ホテル東京）



令和4年度第63回東京北ラス会の集合写真とKKRの懇親会場

◎令和6年の長野北ラス会の模様  
（ホテル信濃路）

北  
ラ  
ス  
会  
  
令  
和  
五  
年  
の  
長  
野



天  
国  
か  
ら  
見  
守  
っ  
て  
い  
る  
よ



この時はお元気だったオロ千春君



ギター演奏して呉れた中村真希男君



## 吹奏楽班OB・OG 第56回定期演奏会開催

去る3月29日(土)、長野高校吹奏楽班OB・OG(以下、OB)会は第56回定期演奏会をホクト文化ホール大ホールで開催いたしました。

構成は第1部OBによるステージ、第2部現役生によるステージ、第3部OBと現役生とのジョイントステージの3部からなり、幅広い年代のOB約80名と現役生を合わせて約110名の華やかで迫力ある演奏となりました。お客様の中にもOBの方々が多数来場されていました。

昨年度から副常任指揮者に就任された田中徹さん(高32回・1979年度吹奏楽班班長)にも、今回初めて1曲指揮を担当していただきました。田中さんは現在札幌交響楽団でプロのトロンボーン奏者としてご活躍

中ですが、このような形で演奏会に関わってくださることを大変嬉しく思いましたし、当会の豊かなつながりや伝統を感じました。

「金鶏の輪～いとりどりの思い出を～」をスローガンに掲げた本演奏会でしたが、もう一度現役時代の仲間とステージに立ち、数々の思い出深い曲を演奏できたことはとても幸せなことでした。現役生にとっても大きな刺激となったようで、全員で素敵な思い出として共有できた演奏会となりました。

今後も現役生への支援を充実させその活躍を見守るとともに、OB同士の交流をさらに深めながら、その輪を広げていきたいと思います。

※お知らせ：定期演奏会の様子は公式サイトでご覧いただけます。⇒ <https://nhb-obog.net>

(令和6年度幹事学年代表 高75回 大川隼人)



吹奏楽班OB・OG会



## 市民大学事業

### 金鶏会館連続公開講座

#### 古文書と考古学から解き明かす歴史学―「いま明かされる古代54&中世・近世」

##### 公開講座

主催：一般社団法人長野教育文化振興会  
協力：一般社団法人長野高等学校金鶏会  
後援：長野県、長野県教育委員会、長野県長野高等学校

於 金鶏会館 大講義室

##### 第1回 6月7日(土)〔第350回講演〕

富山大学 学術研究部 人文科学系 教授

鈴木 景二 先生

「北国街道のさまざまな旅の記録」

―信州を中心に―

##### 第2回 6月21日(土)〔第351回講演〕

一般財団法人長野県文化振興事業団 長野県埋蔵文化財センター

調査部 調査第三課 主任調査研究員 伊藤 愛 先生

「発掘された『幻の城』長沼城跡」

―調査でわかった城の姿―

##### 第3回 7月19日(土)〔第352回講演〕

長野県長野西高等学校 教諭・元 長野県立歴史館 専門主事

傳田 伊史 先生

「古代信濃の生産と貢納 その1」

―古代の薬物「大黃」の謎―

##### 第4回 8月2日(土)〔第353回講演〕

上田市 市長直轄 櫓復元推進室長 兼 上田市教育委員会 生涯学習

・文化財課 上田城跡整備担当 政策幹 和根崎 剛 先生

「発掘調査で見えた寛永の上田城復興」

―遺された「石」と縄張から探る仙石忠政の思い―

##### 第5回 9月6日(土)〔第354回講演〕

群馬大学 共同教育学部 副学部長・国語教育講座 教授

永由 徳夫 先生

「貝原益軒著『心画軌範』と『和俗童子訓』」

―益軒著『木曾路之記』にも触れながら―

##### 第6回 9月27日(土)〔第355回講演〕

石川県金沢城調査研究所 所員 [建造物担当]

(石川県教育委員会事務局 文化財課 文化遺産活用推進室 兼任)

中村 駿介 先生

「江戸時代の善光寺門前町の都市空間とその経営」

―善光寺門前の検地帳を元に―

#### 令和7年度同窓会費(3,000円)の納入をお願いいたします。

##### 送金方法

###### ①同封の振込用紙でのお振り込み

コンビニ・郵便局のどちらでも利用できます

###### ②用紙を使わず銀行へのお振り込み

下記の口座へお願いいたします。お名前と卒業回期または、お客様番号を入力してください。

八十二銀行 長野北支店 普通 133722

一般社団法人長野高等学校金鶏会

長野信用金庫 城北支店 普通 0031958

一般社団法人長野高等学校金鶏会

###### ③スマートフォン決済

「d払い」・「auPAY」・「FamiPay」が利用できます。

振込用紙に印刷されているバーコードを読み込んで、納入していただくことができます。

なお、チャージ残高から支払われますので、ご利用の際は事前に残高の確認をお願いします。

\*口座振替の方は6月27日(金)に引き落としとなります。

\*本年度は高15回までの会員の方々が会費免除になります。

## 結婚相談室のご案内

相談日は  
水曜日です

1. 相談日時 原則として水曜日のみ 10時から16時まで
2. 相談員 長野高校の同窓生である女性相談員が務めております。

ご本人の来室が難しい場合、ご家族様が代わりに相談にお見えになっても結構です。

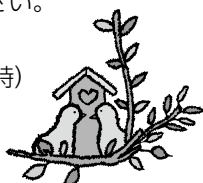
ご希望の方は、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

TEL 026-235-3822(平日14時～19時)

E-mail dousoukai@kinshi.org

http://www.kinshi.org



## 同期会開催のご案内

### ◇高27回 卒業50周年記念同窓会

10月25日(土) 午後3時 ホテルメトロポリタン長野

### ◇高57回 卒業20周年記念同窓会

8月10日(日) 午後2時 ホテル国際21

### 池田満寿夫ギャラリー

金鶏会館では池田満寿夫(高4回)の作品を50点余り、常設展示しております。

ぜひ、ご覧にお越しください。(平日14時～17時、それ以外の時間は予めご連絡ください。)



### 新規データベースへの登録のお願い

昨年から新たなデータベースの構築を進めています。

会員の皆さんからの登録をお願いします。



寄 贈 図 書



**医療・福祉の総合情報誌**  
JAPAN MEDICAL SOCIETY 2024年12月号～2025年薫風号  
野村元久氏(高10回)寄贈



**被爆80年にあたっての提言**  
「核兵器廃絶」と憲法9条Ⅱ  
著者 大久保賢一氏(高17回)



**「原爆裁判」を現代に活かす**  
核兵器も戦争もない世界を創るために  
著者 大久保賢一氏(高17回)



**買物進化論**  
マーケティングが生み出す楽しみ  
著者 西村直久氏(高35回)



**第2版 18トリソミー**  
よりよい医療・暮らしへの道しるべ  
北澤憲孝氏(高38回)共著



**あなたもクリスチャンに  
一もったいない食わず嫌い**  
著者 矢澤俊彦氏(高13回)  
本書をご希望の方は  
TEL・FAX 0235-22-8196 まで



**死の虫**  
ツツガムシ病との闘い  
著者 小林照幸氏(高39回)



**Regionalität in Johann Jakob Bodmers  
Übersetzungen von Miltons Paradise Lost**  
(ボートマーによるミルトン「失楽園」ドイツ語翻訳にみる地域性)  
著者 宮島章子氏(高48回)



**うばたまむし**  
長野高校生物班OB会誌  
うばたまむし17号  
2024(令和6)年  
生物班OB会 寄贈



**ナーシング・グラフィカ  
小児看護学③  
小児の疾患と看護**  
北澤憲孝氏(高38回)共著

### 令和7年度 同窓会総会のご案内

期 日	令和7年6月28日(土)
会 場	ホテル国際21
総 会	午後2時～ 藤の間
講演会	午後3時～ 藤の間
演 題	「美女と野獣」に見る思春期の心
講 師	坂田 浩之氏(高41回)
	大阪樟蔭女子大学 大学院 教授
	同 大学院臨床心理学専攻長
	同 カウンセリングセンター長
懇 親 会	午後4時30分～ 芙蓉の間
会 費	6,500円 当日受付でいただきます。

\*出席される方は事務局へお知らせください。  
\*今年度の当番は、高41回・高53回の方々です。

### 回期別対抗ゴルフコンペのご案内


期 日	令和7年9月28日(日)
会 場	長野カントリークラブ TEL 026-239-3100
費 用	プレー代 16,250円(食事付き) ※優待券は使えません
参 加 費	3,000円
競技方法	新ベリア方式 ☆団体戦：各回期上位3名までの団体 合計成績順位 ☆個人戦：個人別成績順位
申込方法	メールまたはFAXで同窓会事務局へ各 回期3名以上の連記(2組以上も可)で お申し込みください。
締切り日	9月13日(土) *25組で締切ります

※今年も、個人参加の枠も若干用意しましたので、同期  
3名以上とならない方もご参加いただけます。  
※各組のスタート時刻、その他詳細については9月19日  
頃、参加者にご連絡いたします。

**ご寄付をいただきました。**

◇匿名の同窓生の方から30万円のご寄付をいただきました。  
この方からは2年続けてご寄付をいただきました。「金鶏太陽光」奨学金に上乗せする形で使わせていただきます。

**ありがとうございました。**



**事務局便り**

○金鶏祭が6月28日・29日の両日一般公開されます。28日は同窓会の総会・講演会・懇親会と重なってしましますが、総会に出席して翌日金鶏祭に出かけてみてはいかがでしょうか。校長室で保管されている「神聖なるピアノ」の演奏会が今年も開かれます。その歴史的な音色に耳を傾けてみませんか。

○金鶏会館前庭の松の剪定を予定していますが、それにつけても会員の皆様からの着実な会費納入をいただくことが必要です。コンビニ払いやスマホ決済(d払い・auPAY・FamiPay)も利用できます。何卒よろしくお願いいたします。